

令和5年度 事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年 11月 11日

事業所名 放課後支援さくらんぼ

児童指導員 5人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	厚生労働省の定める規定通りです。
	②	職員の配置数は適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	厚生労働省の定める規定通りです。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100.0%	0.0%	0.0%	トイレ内には手すり、玄関の段差にはスロープが設置されています。活動室の床はフラットで段差がありません。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80.0%	0.0%	20.0%	年度初めに年間計画等策定し、年度中間で振り返りをしています。また、業務開始、終了時に振り返りをし、改善をしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80.0%		20.0%	年1回アンケートを実施し、業務改善に繋がっています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100.0%	0.0%	0.0%	保護者の方には評価結果を紙ベースで配布しています。静岡県に確認のうえ、さくらんぼ玄関に掲示し公開しています。ホームページに公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0.0%	100.0%	0.0%	第三者評価は受けていません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100.0%	0.0%	0.0%	業務に係わる研修を実施しています。(今年度は虐待、救急蘇生法、吐しゃ物の処理)
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を計画的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか	80.0%	20.0%	0.0%	ニーズや課題を分析し、計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80.0%	20.0%	0.0%	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		0.0%		支援会議や個別支援会議等を通して検討をし実施。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100.0%	0.0%	0.0%	毎月個別制作を実施しています。買い物、社会科見学、足湯、ドライブ等はコロナ感染対策のため実施しませんでした。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100.0%	0.0%	0.0%	平日、休日、長期休暇、それぞれのプログラムを作成しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等サービス計画を作成しているか	100.0%	0.0%	0.0%	個別活動は、学習・余暇・個別制作を主に実施集団活動は、TV体操・園芸体験・レクレーションや季節の行事等を適宜組み合わせています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100.0%	0.0%	0.0%	業務開始前にスケジュールや学校からの連絡事項、保護者からの連絡等の確認をしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100.0%	0.0%	0.0%	支援終了時に振り返りを行い、学校、保護者、利用者の情報を共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しい記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100.0%	0.0%	0.0%	利用者の個別支援計画に沿った記録を毎日とっています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0%	0.0%	0.0%	9・3月の年2回、モニタリングを実施しています。